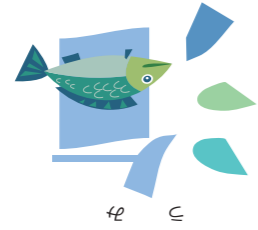


所蔵品展 No.158  
 「特集:海と美術/生誕100年 宮崎進の道程」  
 会期 2022年6月18日(土)ー8月14日(日)  
 会場 下関市立美術館 2階展示室

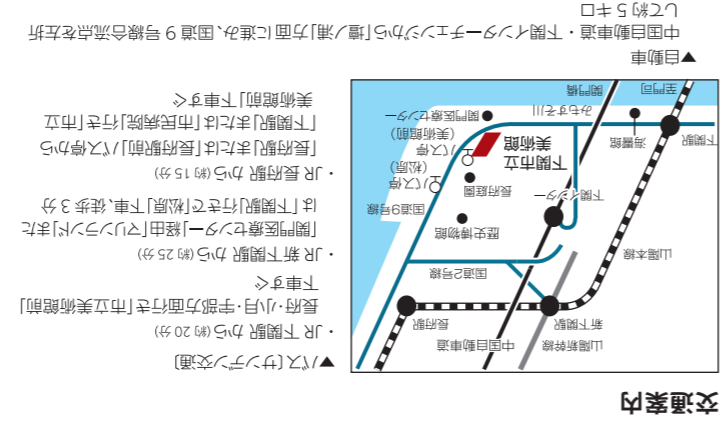
鑑賞ガイド

宮崎進の道程  
 生誕100年

と美術



Shimonoseki City Art Museum  
 下関市立美術館  
 1-1 Yamaguchi-cho, Shimonoseki City, Yamaguchi Prefecture 752-0986  
 TEL. 083-245-4131 FAX. 083-245-6768  
 HP https://www.city.shimonoseki.jp/site/art

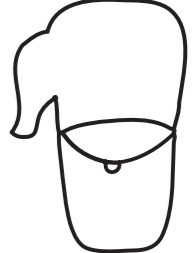
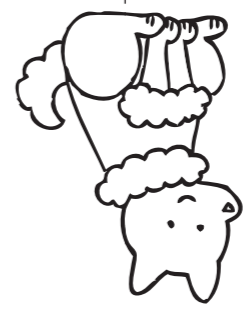
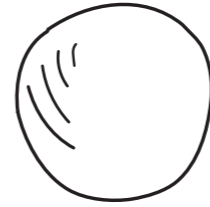


観覧料

所蔵品展観覧料が、18歳以下は無料です。

※( )内は20名以上の団体料金。  
 ※下関市と北九州市在住の65歳以上の方は観覧料半額免除。(100円)  
 ※18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。  
 ※観覧料免除にはいすれも公的証明書の提示が必要です。

一般 210円 (160円)、大学生 100円 (80円)



どの作品の一部か、第3展示室でさがしてみよう!

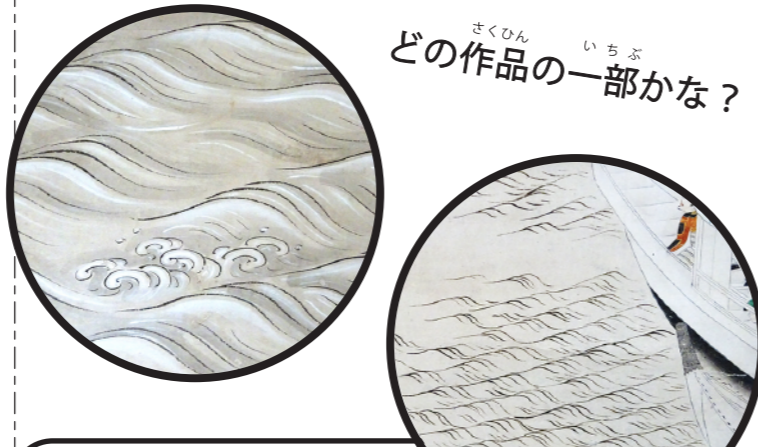
2018年に96歳で亡くなった、徳山市(今の周南市)出身の画家 宮崎進の作品を紹介しています。「道程」とは、歩いていく道のりのこと。彼の絵の中には、人生であった人やもの、さまざまなきごとが、独特の手ざわりをみせながら映し出されています。

生誕100年 宮崎進の道程

波

なみ

ここでは海の波が、どのように描かれているか注目してみましょう。色も形もない水を描くのは、とても難しいこと。画家たちは曲線を重ねておだやかな海の広がりを表したり、くだけ散る波頭を描いて海が荒れているようすを描いたりしています。



どの作品の一部かな?

曲線を重ねて波を表す技法は、古くは平安時代の絵巻物にも登場します。

せいがいはい もんよう おお  
 青海波という文様も、大うなばら ひろひろ  
 海原(広々とした海)をひょうげん もよう じつ  
 表現する模様です。実は美術館のどこかにも使われているという噂!?  
 (※ 建物の中とは限りません)

しぎせんえんぎえまき せいせい ぶぶん  
 信貴山縁起絵巻 (12世紀、部分)

青海波

海

うみ

のいきもの

大変! 絵の中から魚が逃げ出しちゃった!



魚や貝、そして海鳥など、海にはさまざまな姿のいきものが住んでいます。あなたの知っている種類のいきものがいたら、書き出してみてね。



第1展示室でさがしてみてね!

たかしまほっかい かいせんしんさず  
 高島北海《海鮮下図》  
 の中にいるみたい。



がそうていきょう 画像提供  
 しもせきしりつ 下関市立しものせき  
 すいぞくかんかいきょうかん 水族館 海響館

だん うら たたか やぶ へいけ ゆらい なまえ  
 壇の浦の戦いで敗れた平家 に由来する名前  
 のカニ、平家蟹。甲羅のもようが人の顔のように見えることから、この名前が付けられました。森田曠平《平家蟹》にも描かれています。